



イスで広がる地域の輪
「みんなのイス」プロジェクト

家の庭先等に「みんなのイス」と書いたステッカーを貼ったイスが所々に見られる。食卓のイスのようなものや、花壇に細い木を並べて座にしたものなど形もいろいろ。買い物の帰りに荷物を置いて一休みしたり、散歩の途中で座ったりしてほしいと、住民から提供されたものだ。イスを通して、住民の新たな交流が生まれている。

- 内 容 ら・ふいっとHOUSE「みんなのイス」プロジェクト
 - ・ 個人宅や通り等へのイスの設置
 - ・ 置いたイスへの「みんなのイスステッカー」取り付け
- 場 所 美鈴が丘団地内
- 開始時期 平成26年3月
- 実施主体 ら・ふいっとHOUSE運営委員会有志



取組のステップ



「みんなのイス」プロジェクト

団地には、坂道が多く、買い物の途中等で休憩するところが少ない。そこで、団地内で多世代交流拠点「ら・ふいとHOUSE」(P10)を運営するNPO法人と町内の有志が緩やかなグループを作り、通りにイスを置くプロジェクトを開始した。

地域の人達も巻き込み、ご近所の交流のきっかけにしたいとの思いもあった。



住民の協力を得て、地域の取組に広げる

イスの仕様は、既成のものか木製の独自デザインによるものとし、各家で使わなくなったものを提供してもらうことも良しとした。置く場所は、自宅の周りの私有地の部分の小さなスペース(花壇、ガレージ、勝手口、塀の前)、さらにはバス停の前などで、住民の協力を得て進めた。イスには「みんなのイス」のステッカーを取り付けて目印にし、自由に座ることのできるイスだということを明示している。



できることから始める

できる範囲から始めようと、最初は、一部の街区から始め6軒でスタート。その後、他の街区にも広げ11軒になった。

工夫していること等

住んでいる地域にあったものを

他都市の事例を調べたり、何度も団地内を見てまわったりと、自分達の住んでいるまちに相応しいやり方をいつも考えている。

課題・今後の展開

- 家の前のイスから、通りのイスに、そして町内のイスにと活動を広げていきたい。

みんなの声

〈住民〉

- 家の前にイスが置いてある光景は、ほのぼのしていて癒される。

〈主催者〉

- 小さな試みが多世代交流や居場所づくりにつながり、活力と魅力ある団地にしたい。

